

妙教寺だより

第27号

平成21年8月15日

立正 安国



平成二十一年

霹靂火己丑歳

盛夏

ごあいさつ

妙教寺第七世
元寇園教会第五世

順信院日薫

荒木英知

かんは 一切の天人 皆供
養すべし」
見宝塔品第十一

此の経は持ち難し 若し
暫くも持つ者は 我即ち歎
喜す 諸仏も亦然なり 是
の如きの人は 諸仏の歎めた
もつ所なり 是れ則ち勇
猛なり 是れ則ち精進なり
是れを戒を持ち 頭陀を行
ずる者と名く 則ち為れ疾
く 無上の仏道を得たり
能く来世に於て 此の経を
読み持たんは 是れ真の仏
子 淳善の地に住するなり
仏の滅度の後に 能く其の
義を解せんは 是れ諸の
天人 世間の眼なり 恐畏
の世に於て 能く須臾も説

檀信徒の皆様方には、
日々、お題目修行と行学二
道の修行を深められ、護法
護持のご奉仕や種々の高配
に対し、役員一同共々心か
ら深謝いたし、暑中御見舞
申し上げます。

お題目の修行とは

巻頭の法華経の「宝塔偈」
で、法華経を末世に信じ行
いひろめることの困難さをあ
かし、その苦難にひるまない
で、つねに法華経を信じ、読
み、知り、説いていかねばな

らないことを教えている。わ
たしたちは、法華経を信じ
行うことが、ほんとうの勤め
であり努力であることをしっ
かりと心に刻み、信心を根
本とした「信と行と学」の三
つを実践し励むことの大切
さを教えられています。

宗祖日蓮大聖人は、「全
人類が等しく救われる、一
閻浮提第一の御本尊に帰依
しなさい。心して強い信心を
もつて、諸仏の守護を得てい
きなさい。行学の二道の修
行を励んでいきなさい。行学
が絶えたところに仏法はあ
りません。自分も実践し、人
にも教え、導いていきなさい。
行学は信心から起こるので
す。人に語ることができるな
らば、衆生に一文一句でも
語つていきなさい。」と諸法
実相抄で仰せられ、「行学
の二道」の修行の在り方を具

体的に説かれている。



毎月第一日曜日開催の信行会

菩薩行の実践

人間の世界では、一番大事なもの「信」であるといえます。たとえば、あの人を尊敬する根源にあるものは「信頼」という心が籠っていますし、「信」なくして人生のその道をおさめることはできません。何を「師」とするかによつて、人生は変わってしまうのです。

私共が、日蓮大聖人を人

生の永遠の師と選んだならば、その教え示される行学が根本でなければなりません。

日蓮大聖人の教えの中身を理解するべく学を研鑽し教え示された人の道を行ずることが修行になり、道を探める（学）、道を行ずる（行）、これがなくなれば日蓮大聖人の仏法もなくなってしまうというのです。

そして、それは自分のみならず、人にもその教えを教化しなさいと教えられているのです。行学の二道は日蓮大聖人を深く「信」ずることから始まるのです。

「信」とは、仏道修行の出発点であり、その究極である大曼荼羅御本尊に帰依し信ずることです。

「行」とは、修行をいい、自行（じぎょう）と化他行

（けたぎょう）があります。自行とは自身の成仏のために行ずる勤行唱題（ごんぎょうしようだい）などをいい、化他行とは他の人を教化・化導（けどう）することをいいます。

「学」とは、日蓮大聖人の仏法の道理教義を学び教えを受けついで、正しい信仰と実践への指針を相承すること、宗学は「行」を助け、「信」をより深いものにさせる力となります。

この三つのどれが欠けても、正しい仏道修行にはならないのです。

日蓮宗においては、これら自行化他の実践を仏道修行の基本とするのです。



平成 17 年度～平成 34 年度

立正安国・お題目結縁運動

“いのちに合掌”

日蓮宗

妙教寺の修行方法

では、當山の修行方法を紹介しますと、法華経修行の五種をいい、「受持・誦・誦・解説・書写」の五種の修行のことです。

「受持」とは、法華経お題目を受け持つこと、「誦」は経文を見ながら読むこと、「誦」とは経文を暗誦すること、「解説」とは経を解釈して説くこと、「書写」とは、妙法蓮華経を写すことです。



信行会にて写経をされる檀信徒の皆さん

日蓮聖人は、観念成仏の全ての修行を打破し、現実

の社会に法華経成仏を実現することが末法のお題目修行であるとされました。

現代における法華経修行とは、久遠ご本仏釈尊が留めおかれた妙法蓮華経の色読至心受持にあり、天地和合の即身成仏の道こそ、この世の全てを浄土にするのです。

信唱受持のお題目

宗祖は、「釈尊の因行果徳の二法は妙法蓮華経の五字に具足す。我等この五字を受持すれば自然に彼の因果の功徳を譲り与えたもう」(観心本尊抄七一頁)と述べられ、末法の「成仏修行」のあり方を明確に示されています。

即身成仏の修行を目指す、私共は、信唱受持をもって、

正行(唱題正行)とし、誦・誦・解説・書写を助行とします。正行(お題目)は成仏の正因となる主要の行であり、助行は信心を増進する助縁の行という事になります。

日蓮大聖人の御心は、慈悲心に基づくものであり、大慈は安樂を与え、大悲は苦悩を抜き去るものであります。私共は、ご報恩の心をうけついで、仏道・お題目修行を重ねて、日蓮聖人ご生誕八百年や加藤清正公ご入滅四〇〇年の「慶讃記念事業」などの懸案諸事業を推進して、忍難慈勝の大恩に報い「行学二道の五種の修行」に僧俗共に一層精勤したいと存じます。これらの慶節に向かい信行に精進し、日蓮宗の信徒のつとめを果したいと思えます。

2021年(平成33年)

宗祖日蓮大聖人御生誕800年

2028年(平成40年)

妙教寺開基開創150周年

慶賛委員会設立は

又、慶讚記念事業などの（以下・本年度総会資料引用）「慶讚委員会の設立」に關しては、昨年五月の檀信徒総会での挨拶の中で、宗祖御生誕八百年記念事業を進めるに当たり、慶讚委員会を立ち上げまして、計画の立案や事業内容を推進して行く事を確認させて頂くと共に、本年一月発刊の「妙教寺だより」にもその主な内容を記し、檀信徒皆様のご理解とご協力をお願い致したところです。

この様な中で今日まで総代会や役員会を数回開催し、慶讚委員会の立ち上げに向けて、会議を重ねてまいりました。

これらの会議の中で宗祖御生誕八百年記念事業の検

討に止まらず、「自分達の寺を護つて行く、菩提寺を護つて行く」を合言葉に、妙教寺の発展に寄与すべく、妙教寺が持つている諸懸案事項の解決も併せまして、護持会が主体的に取り組んで行く事を確認し、これが為、多くの英知を集め、計画立案・具現化に向けて、慶讚委員会委員の選考が現在慎重に進められているところです。



総会に於て宗祖御生誕800年記念事業に協力をお願いされる住職上人

委員の選考には、本総代会で鋭意努力中であり、早く委員会が発足出来ます

事を期待いたしますと共に、発足の暁には、護持会を始め、檀信徒皆様の絶大なるご理解とご協力を再度、改めてお願い申し上げます。

お盆法要会の参加

来る八月十六日(日)、當山では盂蘭盆施餓鬼供養会が奉修されます。たとえ忙しくとも必ず参詣するよう心がけて、皆様と共に、ご先祖様へ積善の功德を送り報恩のまことをささげたいと存じます。

尚、日々のお参り必携の妙教寺檀家袈裟・念珠と経本・行衣(経帷子)など着帯しご参拝下さい。

南無妙法蓮華經

御祝い・法事などの引き物、ご進物・ご贈答に

ひよ子本舗 吉野堂 のお菓子を御愛用下さい。



ひよ子の
ピナンシェ
九州限定新発売

名菓 **ひよ子** 大野城サティ店
大野城市錦町4丁目1-1 大野城サティ1階
TEL・FAX 092-592-2126

各役員より

妙教寺筆頭総代

村上 卯三



組筑西にて西筑組
に挨拶される
会に挨拶される
要法鬼鬼法要会
法鬼鬼法要会
施餓鬼の皆さん
海檀信徒の皆さん
村上総代

月日の経つのも「夢の内」とは良く申され、ついこの頃お正月の新しい年をお迎えしたと思つたらもう酷暑の八月を迎えました。
檀信徒の皆様方がお元気で長生き出来、平穩に暮らせます事は生前信者であられました各家の御先祖様の信行のお蔭だと思ひます。

「この有難い感謝の気持ちを御先祖様や故人にどうやってお返し出来るかと考えました結果、一番正しく望ましいのは「南無妙法蓮華經」の七文字を色読(身をもって実行して行くこと)して頂くことしか頭に浮かんで来ませんでした。

献花、御供物、金銭等色々とお献上の品々も大切ですが妙教寺檀信徒として誇りの持てる信仰心の強い信者になる事が大切ではないでしょうか。

靈界に先立たれました日貫上人、日賢上人様も靈界より今の妙教寺の姿をみられて安心なされ、檀信徒の日々を見守つて戴いていることを思うと感謝せずにはい

られません。

今後はより一層上人ご生前同様の妙教寺が再現出来て檀信徒老いも若きも一致団結し、檀信徒の皆様と協力し共に智慧を出し合つて、妙教寺を盛り立てて行きたいと考へます。

檀信徒数が一人二人と増えていく事を願ひ、妙教寺檀信徒会員の拡張にも努力して行き度いと思ひます。

妙教寺及び檀信徒の皆様健康とご活躍を祈念し、ご挨拶とさせて頂きます。

南無妙法蓮華經

婦人会会長

古賀 静枝

三沢お清正公堂

修復について

長かった梅雨もやっと終わろうとしています。お清正公

暑中御見舞申し上げます

平成二十一年霹靂火己丑歳 盛夏

妙教寺 筆頭総代

護持会会長 村上 卯三

様の御堂が、ビニールシートを架けたまま又梅雨を迎える事に成つたらどうしましうと、夢にまで御守護神様が出てこられていました。

皆様のご浄財で屋根、御堂等完成しました。これは、浄財を出された方、それを支援された方々の信仰の賜でしょう。



修行唱題を叩いて太鼓扇を古賀婦人会会長をされる

御堂の中も電球等綺麗なものが取り付けられてお清正公様も心なしか笑顔に成られたようです、清掃して、感謝の気持ちでお参りさせ

て頂いて、お経が終わり皆様でお話をして帰りますが、お清正公様を振り返る時に、今日もお参りできて有り難う御座いましたと、心の中で唱えると、云とうなずかれます。ひと月に一回ですが、気持ちのいい一日になります。

南無妙法蓮華経

信行会会長

植村 俊親

信行会も新しい人の参加が増えてきました。お経の練習 作法等毎回実施しています。

毎日のお勤めに、次の御妙判をご紹介します。参考にしてください。



檀信徒総会で挨拶される植村信行会会長

「波木井殿御書」にいわく

日蓮は日本第一の法華經の行者なり。日蓮が弟子檀那等の中に日蓮より後に来たり給い候わば、梵天・帝釈・四大天王、閻魔法皇の御前にも、日本第一の法華經の行者、日蓮房が弟子檀那なりと名乗って通り給うべし。

この法華經は三途の河にては船となり、死出の山にては大白牛車となり、冥土にては燈となり靈山へ参る橋

拝む心で尊い品を

梅谷仏具店

本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9

Tel 092-271-0456

年中無休 駐車場完備

支店 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4

Tel 092-806-7499



なり。靈山へましまして良
の廊にて尋ねさせ給え。
必ず待ち奉るべく候。

「中興入道御消息」にいわく
去ぬる幼子のむすめ御
前の十三年に、丈六の卒塔
婆をたてて、その面に南無
妙法蓮華經の七字を蹟して
おわしませば、北風吹けば
南海の魚族、その風にあた
りて大海の苦をはなれ、東
風来たれば西山鳥鹿、その
風を身に触れて畜生道をま
ぬがれて、都卒の内院に生ま
れん。況や、かの卒塔婆に
随喜をなし、手をふれ、眼
に見まいらせ候人類をや。
過去の父母も、かの卒塔婆
の功德によりて、天の日月の
如く浄土を照らし、孝養の

人ならびに妻子は現世には
寿を百二十年たもちて、後
生には父母とともに、靈山
浄土に参り給わん事、水澄
めば月うつり、鼓を打てば
響きのあるが如しと思しめ
し候え等云々。

南無妙法蓮華經

事業担当長

臼井義光

「雨ニモ負ケズ」

先日、妻と三歳の息子が
「フリーマーケット」で古本
(リサイクル本)を三冊かって
着ました。子供用の「読み聞
かせ」の本です。

その中の一冊に宮沢賢治
の「雨ニモ負ケズ」の本があり
ました。

私が中学生の時、その文
章を暗記しようとした事を
思い出し、「懐かしいなあ…」
と思いました。

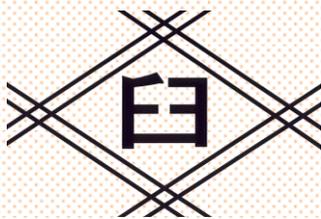
早速、その夜寝る前に息子
と読むことにしました。

ところが読んで聞かせてい
るうちに、その言葉一つ一つ
の気高さに、奥の深さに感
動し、声が詰まり、読み続
けることが出来なくなつてし
まいました。



信行会に於て講演される
臼井事業担当長

この「雨ニモ負ケズ」は、私
たちが、人生に迷った時、壁
にぶつかった時、「本当の幸



早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 臼井組

建設業

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9 TEL(092)932-7397

福とは何か！人間としての本来の生き方は何か！」を再度考え直す機会を与えてくれる作品だと思いました。またこの作品は、賢治が作品として発表したのではなく、彼が亡くなった後に肌身離さず持っていた、手帳の中から発見され、世に出たものだと言葉に書きました。彼の人生の中で最も重要な事を書き記し、繰り返して、繰り返してつぶやいていた「祈りの言葉」だったに違いありません。

まさに、私達仏法を護る者にとつての仏典（法華経）とまったく同じものであったと思います。

思えば、今年で七回忌をお迎えになる、日貫上人（元当山住職、花田英忠上人）が朝参りの説法の折「『南無妙法蓮華経』の七文字を口

先だけで唱えるべからず。心の底より、噛みしめる様に唱えなさい。そうすれば、自らの口から出でたお題目は、再び自らの耳より入り、体の隅々まで行き渡り、そして、自らの骨を通つて魂（自我）に染み込みます。その恩徳は、たとえ肉体が減んだ後も、未来永劫引き継がれる大徳になるのですよ。」とおっしゃつた事を思い出します。

今日、日蓮宗は、立正安国、お題目結縁運動の真つ只中



宮沢賢治(満三十七歳没)
法華経の信者である彼は、農業指導にも貢献された。

繰り返して、繰り返して、心を込めて魂に染み込む様に唱える事が大切です。

今、息子は、小さな寝息をたてています。この子が、この子の魂が、法華経を心の支えとして、本当の幸福を理解できる大人に成長する事を願つて、明日はきつと最後まで「雨ニモ負ケズ」の読み聞かせをきちんと終わらせたかと思つてます。



宮沢賢治の故郷、岩手県花巻市に建てられた「雨ニモ負ケズ」の詩碑

南無妙法蓮華経

人の安全・車の保安・真心サービス

スピーディをモットーに
民間車検・国土交通省指定整備工場

井上自動車株式会社



本社

福岡市博多区麦野1丁目1-38

電話 (581)4607・3089 ☎ 812

FAX (581)4796 -0882

第二工場

福岡市博多区井相田2丁目3-25

電話 571-7376

全国ネットワークのロータス優良メンバー工場

日蓮大聖人のおことば ⑥

開目抄

善に付け悪につけ法華經をすつる、地獄の業なるべし。本願を立つ。

日本国の位をゆづらむ、法華經をすて、

觀經等について後生を期せよ。

父母の頸を刎、念仏申さずわ。

なんどの種々の大難出来すとも、智者に

我義やぶられずば用いじとなり。

其外の大難、風の前の塵なるべし。

我れ日本の柱とならむ、

我れ日本の眼目とならむ、

我れ日本の大船とならむ、

等とちかいし願、やぶるべからず。

(聖人五十一歳佐渡での著述)



竜の口処刑場の不思議な現象により、聖人は助かりました

文永八年九月十二日の竜の口法難の虎口を脱れた聖人は、翌十月佐渡流罪となり雪は降り積もつて消えることなく、昼は日の光も射さない極寒の中、塚原三昧堂の配所に住されることとられた。

追い撃ちをかけるよう日蓮教団は幕府禁断の宗教となり、正に崩壊の危機に瀕した、かかる迫害受難の数々は法華經の予言するところであつて、聖人自信にあつては法華經色読の歡喜法悦心境にあられたが、弟子檀那の中には疑惑を懷き動揺する者も多

かつた、そのような教団の内外的危機の中、自らも死を覚悟され、そして迫り来る死の危機と直面した環境に中「一期の大事」、「日蓮が不思議」を「万難をすてて道心あらん者にしるしとどめてみせん」という内的(心の中から無意識に湧いてくる)要求から、述作されたのがこの開目抄で末法における主師親三徳兼備の導師として三大誓願を立て、自ら本化上行の応現なることを開顕された。



聖人五十歳で三昧堂に入られ「開目抄」・「佐渡御書」等を書かれた。

「日蓮宗事典参考」 高野 英典

寺宝 ⑥

世界平和記念鳩

「グローバルピース」



当山第五世 順忠院日貫上人がご遷化され、早いもので本年十一月に第七回忌を迎えます。日貫上人は幼い頃に、お母様を亡くされ、お父様と年の離れたお姉様（故 平山先生）の手で育て

られたとお聞きしています。時代背景の厳しい中で育てられた上人は生まれもった深い信仰心で、皆様もご存知の

ようにいかなる時でも信仰的な物の考え方をし、意志堅固、明朗快活でオピニオン・リーダーシップがあり、ことのほか慈悲深く平和を愛された方でした。

宗教界においても長年福岡県仏教連合会会長・西日本宗教懇話会会長・福岡県青少年教化協議会会長等を勤められ、各会の礎を築かれました。いつも私達に『全人類の同一利益目標である平和と幸福と繁栄を創造し、共存共

栄の楽土という社会を建設しよう』を合言葉にご指導して頂きました。

叔、紹介の品は「世界平和記念鳩」(グローバルピース)といい、これは一九八七年十二月八日、アメリカ、ワシントンで執り行われた「INCO (INTERMEDIATE - RANGE NUCLEAR FORCES) 中距離核戦力全廃条約の記念の品として当時のアメリカ合衆国ロナルド・レーガン大統領よりソビエト連邦共産党ミハイル・ゴルバチョフ書記長へ世界平和を祈念して贈られたものです。

尚この作品は、一個作る為に十個の製作が行われ、最終的に三個が完全な形で完成の為、世界に三個のみ



存在する逸品です。

一個は当然世界平和ノーベル賞受賞者のゴルバチョフ書記長の手元に、一個は製作をしたBOEHM(ベーム)社に永久保存され、そして最後の一個が当山にあるこの作品です。希少な品の為入手の経緯は詳しく話されませんでしたが、日貫上人ご生前のさまざまな功績に対し贈られたものと聞いております。(高野 英典)

信行会より

仏事作法（法事の心得）



“心のこもった
ご法事を”

“ご法事は先に亡くなったご先祖や親族に対し冥福を祈り忌日に執り行う仏教の大切な行事です。

“ご先祖様へ感謝の気持ちで心のこもった法事執りを行いたいものです。

“それでは、どうすれば心のこもったご法事が出来るのでしょうか。大きく四つにまとめてみました。

第一に、供養をする故人をしつかり思い出すことです。

“思い出すことで故人はあなたにすぐそばにお呼びするこ

とになるのです。思い出すことで故人の声が聞こえたり、お顔が見えてきます。

第二に、作法をきちんと行うことです。

作法は心の表現です、前準備から当日の流れ等わからない所はお寺か慣れたご親族の年長者の方等に尋ねられることもよいでしょう。

特に当日のお上人への挨拶や、法事中の合掌やお数珠の使い方、お焼香（お線香）の作法など、一度覚えると重宝です（信行会にてご指導しております）。

又、服装も気になる時があります、法事のお手伝いをす

る私達僧侶は法衣を着て正装して伺いますが、当事者の施主さんが普段着では故人に対し失礼になるのではないのでしょうか。

第三に、故人を語ることで

故人がお元気であられたころの人柄、功績を皆で語り合うことです。“いい人だったなあ”と懐かしんだり“大変お世話になったなあ”と感謝の思いをお互いに述べ合うことです。

第四に、故人に喜んでもらうことのできるような日送り、人生の歩みを深いご縁に結ばれた皆さんが、故人にお誓いをすることです。

私達が故人を偲ぶよう、故人も残された私達の幸せ

を願っておられます。

以上、今述べたことを実行することで誠に心のこもったご法事になることでしょう。

作法も心の表現です、心をこめるとおのずから態度に現れるものです。

※ご法事の予約の連絡をしてこられる際によく尋ねられることがあります。“お布施はどのくらいしたらいいのですか？”皆さんの言われるお布施とは、六波羅蜜「覚りの世界（彼岸）に到る為の仏道

修行」の中の布施行の一つの財施のことで、自らの出来る範囲で精一杯のものをお包みさ



ればよいのです、これは、お経料とかお坊さんの手間賃ではありません、施主方が故人へ送る供養です。それをお寺を介して法のために使われ、その功德が故人へ届くのです。

◎のし袋の書き方の一例をご紹介します。参考にして下さい。



◎お線香のあげ方は次のようです。

普段のお勤めの時は三本立てます、又お葬儀の時や法事の焼香の時には一本でも良いです。

◎日蓮宗の場合線香を二本立てることはいかなる場合でもありません。合掌

「各資料から」高野英典

施餓鬼について

お盆の時期にはお精霊さまと呼ばれる各家のご先祖の霊が一年に一度だけ我が家に帰ってくる。され、仏壇に供物を供え、お坊さんを招いて読経していただいて祖先の恩に報じる家も多いことかと思えます。

このお盆の時期に合わせて執り行われる法会に「施餓鬼会」というものがあります。これは「餓鬼に施す」とその字が示しているように六道輪廻の世界にある凡夫の中でも、死後に特に餓鬼道に堕ちた衆生のために食べ物を布施し、その霊を供養するために行われる法要です。

お盆の時期に合わせて

施餓鬼会を執り行うようになつたいわれは『盂蘭盆経（うらぼんきょう）』というお経に記されています。



餓鬼草紙（平安時代）
飢えに苦しむ餓鬼道の様子が描かれています

お釈迦様の十大弟子で神通第一と称される目連尊者が神通力により亡き母の行方を探しますと、母は餓鬼道に落ち、肉は痩せ衰え骨ばかりで地獄のよくな苦しみを得ていました。目連は神通力で母を供養しようとしたが食べ物はおろか、水も燃えて

しまい飲食させることはできません。困った目連尊者はお釈迦様に何とか母を救う手だてがないか尋ねました。するとお釈迦様は「お前の母の罪はとても重い。生前は人に施さず自分勝手だったので餓鬼道に落ちた」として、「多くの僧が九十日間の雨季の修行を終える七月十五日に、ご馳走を用意して経を誦し、心から供養しなさい。」と答え、目連が早速その通りにすると目連の母親は餓鬼道の苦しみから救われることができました。そして今もこの逸話になぞらえ、お盆の時期には亡き先祖への報恩感謝、追考供養のために各地のお寺さんでは施餓鬼会を執り行うならわしとなっております。

しかし、本来施餓鬼会は特定の時期（お盆）の時に限定して行われるものではありません。

施餓鬼会そのもののいわれは『救拔焰口陀羅尼經（くばつえんくだらにきよう）』というお経に記されています。

釈迦仏の十大弟子で多聞第一と称される阿難尊者が静かな場所で坐禅瞑想していると、焰口（えんく）という餓鬼が現れました。痩せ衰えて喉は細く口から火を吐き、髪は乱れ目は奥で光る醜い餓鬼で、その餓鬼が阿難に向かつて、「お前は三日後に死んで、私のように醜い餓鬼に生まれ変わるだろう」と言いました。驚いた阿難が、どうしたらその苦難を逃れられるかと餓鬼に問うと

餓鬼は「それにはわれら餓鬼道にいる苦の衆生、あらゆる困苦の衆生に対して飲食を施し、仏・法・僧の

三宝を供養すれば、汝の寿命はのび、我も又苦難を脱することができ、お前の寿命も延びるだろう」と言った。しかし阿難にはそのよ

うな事をできる金銭が無かったため、お釈迦様に助けを求めました。するとお釈迦様は「観世音菩薩の秘呪がある。一器の食物を供え、この『加持飲食陀羅尼』（かじおんじきだらに）を唱えて加持すれば、その食べ物は無量の食物となり、一切の餓鬼は充分に空腹を満たされ、無量無数の苦難を救い、施主は寿命が延長し、その功德により仏道を証得することができると言われました。阿難が早

速その通りにすると、阿難の生命は延びて八十八歳までの寿命を得る事ができたといいいます。



当山での盂蘭盆施餓鬼供養会

盆の期間中、皆様方は知らず知らずのうち自身に祖先のみならず普段供養してもらえぬ事無縁無縁仏の方々をも供養しているといえるでしょう。

この逸話に出てくる餓鬼はいわゆる無縁仏であり、満足な供養を受けない事ができずに苦しんでいるとされています。お盆の期間中、仏壇に施餓鬼棚や精霊馬を設ける風習がありますが、これも無縁仏となり、成仏できずに俗世をさまよう餓鬼へ向けたものとされています。つまりお

このように、施餓鬼会は十方三界有縁無縁の一切の諸霊に飲食を与え供養する大切な法会です。この法会において一切の諸霊に施す事は自らの貪りの心を鎮める事にもつながり、いずれその功德は自らにも返ってくる事でしょう。今月はお盆の月です。ぜひともお施餓鬼に足をお運びいただき、十方三界有縁無縁の諸霊に手を合わせると共に、自らの信仰をより深いものにしていただければと思います。

「各資料参考」

高野 英一

檀信徒投稿覧

妙教寺総代

花田 正月

「総会を終えて」

四月五月は村の行事が多くて中々祈禱祭に来れませんが、田植え、茶摘と重なり、忙しい日を過ごしてききましたが、三沢のお堂の修復も出来ましたので、六月はお参りしようと思っていましたら、護持会の総会が来てしまいました、足の方が座れなくなり総会に出られるかと心配していました、無事終了しました、毎年毎年総会の時期になると会計の集計をしてまいりましたが今年は特に足が悪くなり、御守護神さまの御守を頂かねば、



本年の総会に挑まれる花田総代 (写真中央)

終了しないことを痛感しました。

日蓮聖人の生誕八百年、御守護神様の入滅四百年も参ります。

今年は御前様の七回忌も迫っています、護持会も忙しい日々が続きます、新しい役員の方も徐々に決定してまいりました。信仰を篤くして乗り切らねばと思えます。南無妙法蓮華經

春日市惣利地区

古賀 喜美代

「二度目の自転車大当たり」



二台目の自転車を前に住職上人と記念撮影

一昨年と今年と、続けて自転車をお願いした。一つは折られたみ自転車で、今年も軽快車、有難い事です。

お寺さんには、なかなか足が向かないので、ご先祖さまが「自転車をプレゼントすれば、顔を見せてくれるかしら」との計らいかもしれな

何はさておき、正月から縁

起がいいので、この不況を乗り越えるための「カンフル剤」と思い、一年を無事に過ごしたいものです。

福岡市東区箱崎

高野 幸子

「海上施餓鬼大法要に参加させていただいて」

今年初めて海上施餓鬼会大法要に参加させていただきました。

この法要は亡くなられた当山の御前様(日貫上人)が元寇の役の日本軍・蒙古軍とわけへだてなく、又犠牲になつた多くの民、先の大戦で亡くなった英霊等、たくさんの方々の精霊を供養する為に、西筑組のお上人様方と始めら

れた法要だとお聞きしております。「僕は、目に見えない霊の方も大切にするんだよ」と日頃からお話しされていた御前様だからこの法要を思いつかれたんだなあと思いました。



博多港国際ターミナルに於て海上施餓鬼大法要は厳粛に行われた。

午前中は、お施餓鬼大法要に続き参加者全員で会場外のテラスで博多湾にむかって、「南無妙法蓮華経」のお題目を唱えながら献華をいたしました。

午後からはお上人様方の法話・講演が行われました。お話の中で、ある小学校で

給食の時の「いただきます」を父母の強い希望で廃止し、代わりに笛の合図で食べ始めるとの事でした。「いただきます」と言うのが「宗教的な感じがする」というのが理由だそうです。

私はもの心ついた時からご飯の前は「いただきます」後は「ごちそうさまでした」と言っていますが、何の不思議も感じておりませんでした。私達の口に入る物に対して、又作っていたいた方に対して感謝の意味と気持ちで「いただきます」「ごちそうさまでした」を言うのがおかしいことでしょうか、私にはとても理解できません。そのお話の中でお上人様が「日蓮宗には「食法」というのがあります。ご存知ですか」との質問がありました。私はお寺で教えていただいて

いたので「ハイ！知ってます！」と手を挙げたかったのですが遠慮しました、その時にお上人様が「食法」を唱え出されましたので、一緒に唱えさせていただきました。



初めての参加は親子での参加になりました(筆者2列目左)

当日は、思いがけなくお休みがとれて、参加させていだいて幸せでございました。九月二十九日に開催されます「立正安国論」奏進七五〇年記念、福岡県大会にも是非参加させていだきたいと思えます。

南無妙法蓮華経

信行会役員

伊藤 敏夫

「日蓮宗との
出会いから感じたこと」

妙教寺様には日頃からお世話になっています。

私が日蓮宗のお経を聞いたのは、今思い出せば十七年前で日曜日の朝、襖越しに両親が「是諸天人 世間之眼 於恐畏世 能須與説一切天人 皆応供養」と宝塔偈の最後の部分であったと記憶しています。

私の実家は浄土真宗の為最初は戸惑いもありましたが、十二年前父が亡くなり、以来仏前でお題目「南無妙法蓮華経」を唱えるようになりました。

平成十八年三月までは母が健在でありましたので、仏

様の事はすべて母と家内がお世話していましたので、お経を始め朝のおつとめ等あまり感心がありませんでした。



信行会の役員になられた
乙金地区の伊藤敏夫氏

平成十八年四月、母の病気と同時に家内による介護がはじまりました。

そこで私が仏様のお世話をするようになり植木等庭の掃除、朝のおつとめである、お茶・水・生花の取替え・氏神様の榊・荒神様のねずみもちのお供えをして簡単ですがお経を唱えることが日課になりました。特に、お供

えする花はどこに行っても目につくようになり、四季折々こんなにも多くの種類の花が点在しているのに驚かされます。毎日のおつとめをするうちに、先祖さま・両親への感謝、一日健康で動かれることの喜び、何とも云えない満足感・安らぎを感じるようになりました。

昨年四月より信行会に参加するようになり、お題目にそつてお経を少しでも覚えようと思うのですが難しく努力もたりないため時間をかけて習得していきたく思います。そして、皆さんと大きな声でお経を唱えるのが夢です。

これからの人生は心もちょうど良くもなり悪くもなりません、自分を忘れず修行を積むことにより生きていることの感謝の気持ちを忘れ

ないようにしたいものです。

南無妙法蓮華經

婦人会役員

村上 英子

“おとき当番について”

この度、おとき当番についてその記録を出す事になり、一筆書かせて頂きます。

毎回の献立はいつも変わる事はありませんので前日に二名で買い物に行き、当日は七時三十分集合しました。今回は九名で切る人、煮る人、味付けをする人、その他いろいろ準備する人と分担しました。また、各々の味付けは皆で味見して、一致した所で最後の盛付に入ります。皆和気あいあいと慣れた手付きで料理もスムーズに出来上がり、十一時には檀家の皆様に食べて頂く

事が出来ました事、嬉しく思いました。また、多くの人が美味しく頂いてくれました事は、皆様と協力し合った事でこそ努めて来られた物であり、これから先もずっとお付き合い出来る事が何よりの財産です。



おとき当番の
4月お弁
皆さん

これからも健康でいる限り、お寺様との関わりを大切にしていきたいと思います。

最後になりますが、私達の当番はお釈迦様の日にさせて戴き、良いご縁があるのかと私は私なりに感謝しております。

南無妙法蓮華經

輝く旭日

『度牒交付式に参加して』

松尾 英勝

昨年六月に得度式をして頂き、僧侶の道へと歩み始めました。そして、今年二月五日・

六日に亘って、出家得度・立教開宗の霊場である、千葉県清澄の大本山清澄寺に於いて平成二十年度第四回度牒交付式に、師僧と実兄の付き添いのもと、式典に出席させて頂きました。

今回の度牒生は、北は北海道から南は宮崎県より、四十六名の出席がありました。その中には外国人が一名、私が一番年上かなと思っておりますが、六十七歳を筆頭として八名の年上の方が出席され、その中に女性が一名おられました。

この度得度式から度牒に至るまでに各方面から、協力・支援等を頂きましたこと、厚く感謝申し上げます。有難うございました



清澄寺山門前で師僧と一緒に記念撮影

式典は、大導師に宗務総長をお迎えして、清澄寺祖師堂に於いて厳粛に執り行われました。宗務総長の訓諭では、度牒生への激励の言葉と、何故、ここで度牒交付式が行われるのか？ ということ、お話があり、この清澄寺は日蓮聖人が十二歳で立願登山さ

れ、十六歳で出家得度なされ修行された寺であること、又、境内地の旭が森にて、建長五年四月二十八日、昇ってくる旭に向つて「南無妙法蓮華経」と唱えられ開宗宣言された所であることから、この霊場を肌で感じ、これから日蓮宗の僧侶として努めていく出発点に相応しい所であることのお話がありました。

式典が終わつて旭が森まで唱題行進し東の方向に向かつて唱題続け、六時二十分ごろでしょうか、雲の輪郭が赤くなりもう直ぐ旭が昇ってくると思うとお題目を唱える声が大きくなり、六時三十分頃東の空から鮮明に輝く旭が昇つてくると、自然に全員が唱えるお題目が一段と大きくなりました。

た身震いと鳥肌がたちました。旭に向つて、感謝の気持ちと、これから一層精進して行くことの誓いを立て、お題目で答えてまいりました。



旭が森にて、出席者全員による旭日遥拝

日蓮宗の僧侶として一生に一度しかないこの時に、旭を拝める事は、大変幸せな事だと思ひ、これからの修行の励みとして参りたいと思ひます。

二日間の行事も終わり帰福、諸天善神仏菩薩様のお陰をもちまして、無事終わったことに深く感謝申し上げます。

南無妙法蓮華経

行事スナップあれこれ



1/12 星祭り、新春福引大会
お酒が当たって大喜びの檀家さん



元旦 新春初参詣祝禱会、本年
初めての御法味を差上げました。



2/2 節分追儺会、福は内、鬼は外
福は内、鬼も内。今年も無病息災



1/18 婦人会主催寒修行、団扇太鼓
を叩いて唱題行に励みました。



5/24 檀信徒総会 宗祖御
生誕 800 年記念に向けて皆様
の協力を願う。



4/12 花まつり釈尊降誕会
甘茶を戴く檀信徒の皆さん。



2 月 咲きほころぶ元寇園
教会の梅の花。



7/23 肥後本妙寺頓写会
来年の第 400 遠忌に向けて
祈られる参加者の皆さん。



7/20 盆前大掃除 仏具の
手入れをされる檀信徒の皆
さん。お疲れ様でした。



7/17 海上施餓鬼大法要、博多
湾に向かって献花をされる檀
信徒の皆さん。

寸言

渡り鳥は気候温暖な日本に越冬し島(党)から島(党)へ渡り歩く信念もなく居心地の良い処を求めるものあり、言いたい放題困ったもの。

カイレ騒動で業者は倒産そんな大臣も 他の政(島)党に移り 言いたい放題 そんな大臣は信用しない。

自分の言いが通じない 新(島)党結成 国民は無視 そんな大臣は無視。

党(島)首会談 国民不在 政権を執つたみたいに話す 人困ったもの。

(相撲の関取)東関親方がアメリカ議会から表彰される。日本の国技相撲の貢献したことが多大と評価される。

国会解散 首相の牽引力不足で あっちこっち 足を引つ張り 自民も 民主も 欠点 欠点 アナ探し この国は どこへ行くのやら 北朝鮮 ミサイル発射 射程 日本国を含む 拉致被害者 多数 どこまで続くやら。

(編集委員長 植村俊親)

あとがき

【新型コロナウイルス】

メキシコで発症し、今日では日本を含め世界各国に広がり、まだまだ衰える気配がありません。

よその事と思っていました。が、福岡県でも感染者があらわれ、私が住んでいる校区でも感染者が確認されるな

ど身近な事になりました。校区の小学校では一週間の休校措置がとられるなど、素早い対応で新たな感染者を見ることなく一応終息したようです。

この間、小学校では子供達の楽しい声はなく、通りにも子供達の姿はなくなり、ひっそりとした空間となり、何か異様な雰囲気を感じたのは私だけだったのでしようか。(当の子供達は自宅で勉強し、外出は出来ないことから大変だったら幸いですよ)

現在は少し納まって来ていますが、初夏での新型コロナウイルスが発症する中で、秋から冬にかけて、例年インフルエンザが発生する時季を目前に控え、新型コロナウイルスがあらためて猛威を振るわないように祈るばかりです。

その為にも、転ばぬ先の杖ではありませんが、日頃から健康に気を付け、日常の手洗い・うがいの励行をしたいものです。

混迷の現在こそ、正法である法華経を信仰する私達檀信徒は、日蓮聖人が北条時頼に呈出した「立正安国」への思いを知り、水が汚濁していようと濁みに染まることなく、清廉な花を咲かせる蓮の花のように菩薩行を糧として、身近なところから社会浄化に努めたいとおもいます。

八月の盛夏、残暑と暑い日が続きます、皆様にはくれぐれも健康に留意され、ご慈愛ください。

(編集副委員長 白水岩人)

- ◎8月2日(第1日曜)
・月祈禱祭 午前10時より
・三沢清正公堂大掃除 午後より
- ◎8月7日～15日(金～土)
・孟蘭盆棚経廻り 早朝より
- ◎8月16日(第3日曜)
・孟蘭盆施餓鬼供養会 午後1時より
- ◎9月6日(第1日曜)
・月祈禱祭 午前10時より
- ◎9月20日～26日(日～土)
・秋季彼岸施餓鬼供養会 早朝より
- ◎9月27日(第4日曜)
・各家勸請守護神祭
・秋季彼岸施餓鬼供養会 午後1時より
- ◎9月29日(第5火曜)
・「立正安国論」
奏進七五〇年記念
日蓮宗福岡県大会
福岡サンパレス 於
- ◎10月4日(第1日曜)
・月祈禱祭 午前10時より
- ◎10月18日(第3日曜)
・お会式
・月施餓鬼供養会 午後1時より
- ◎11月1日(第1日曜)
・月祈禱祭 午前10時より

平成 21 年行事予定(8 月～12 月まで)

- ◎11月22日(第4日曜)
・月施餓鬼供養会
・順忠院日貫上人 第七回忌法要 午後1時より
 - ◎12月6日(第1日曜)
・月祈禱祭 午前10時より
・三沢清正公堂大掃除 午後より
 - ◎12月13日(第2日曜)
・年末煤払い大掃除 午前9時より
 - ◎12月20日(第3日曜)
・年末総供養施餓鬼会 午後1時より
 - ◎12月27日(第4日曜)
・正月お供えの為の餅つき 午前4時より
 - ◎12月28日～30日(月～水)
・正月飾付け準備
 - ◎毎月 第1日曜日は
・信行会 (12時より)
・三沢清正公堂お参り (午後より)
- | | |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 発行所 非売品
大野城市錦町二丁目一番二十七号
春日山 妙教寺
○九二(五八)二二六六 | 行事予定日は、変更させて頂くことがありますので、事前
に発送します案内でご確認
下さい。 |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|

「立正安国論」奏進 750 年記念

日蓮宗福岡県大会

参加者募集中

日時：平成 21 年 9 月 29 日 (火) 会場：福岡サンパレス

~~~~~ 11:30 受付開始 ~~~~~

第一部 記念式典並びに法要

第二部 日蓮劇「日蓮さま 龍の口の奇跡」

プロデュース&脚本：栗原 美和子 総合演出：永峰 明

出演：福岡県日蓮宗青年会及び県内僧有志

※ご来場には奉賛券が必要となります。詳しくは当山にお尋ね下さい。